

船出した 「あらかわバイロイト」

文 田辺とおる

ワーグナー音楽祭「あらかわバイロイト」が船出した。

そのメッセージは文字通り「あらかわ」と「バイロイト」。地域に根付いた劇場経営とワーグナー作品の定期公演だ。浅草オペラ以来の下町オペラはS席一万円台前半という価格帯を維持する。芝居やミュージカルならば普通の額だ。しかし、オペラでは困難。来日公演はS席六万円を超え、多額の税金で運営されている新国立劇場公演も三万円近い。

ワーグナー公演は高くて当然、という常識がまかり通る業界にあって、設備・広告・人件費などを極力スリム化し、絢爛豪華には程遠いけど身近な公演を提供する、という事にこだわった。

ドイツでは、地方劇場でもワーグナーを多く公演する。オケや合唱は少ないし舞台も簡素。券価格も安い。でも、やる。日本でもきつと、身近で手の届くワーグナーが待たれていると思う。なんといってもクラシック愛好家にドイツ最厚は多く、ワーグナーの管弦楽曲はオペラ演奏会の花形だ。音楽専門教育も大きく進歩して、東京は高水準演奏家の宝庫になった。ワーグナーオペラが定着する素地は確立しているのだ。

そういうモットーを掲げて「あらかわバイロイト」は本年五月十五〜十七日に第一回公演を開催した。演目はワーグナー最後の作品「パルシファル」。「西洋音楽史上の最高傑作」と折り紙つける専門家も少なくない名作だが、日本での上演回数は非常に少なく、日本人公演となると数える程しかない。

反響は、非常に大きかった。指揮・演出・美術をドイツから招聘し、日本のワーグナー演奏にトップクラスの実績を誇る歌手たちが多く出演してくれた。オーケストラもドイツ帰りなど、若手プロの腕利きが集まった。「市

民オペラ」規模の公演としては破格の実力者が揃ったのだ。各誌の批評を少し紹介したい。

「オーソドックスな舞台と勘所を押さえた指揮で長丁場ながら飽きさせることなく公演を成功させた。(中略)ドイツオペラのレパートリーに欠かせない歌手が揃い、TIAAフィルも作品のスケールの大きさを体験できる演奏を行った(モストリー・クラシック)」、「ワーグナーの、むしろ細やかな音楽性を浮かび上げさせた功績は指揮のクリスティアン・ハンマーの音楽性によるところが大きいだろう。TIAAフィルは、音楽的流れを途切れさせない指揮者の力もあり、ワーグナーの音楽の美しさを引き出していた。歌手陣ではアンフォルタス役の太田直樹のドイツ語の美しさ、クンドリー役の蔵野蘭子の存在感、公演監督でもある田辺とおるの体当たりの演唱、リリックな声を崩さず演じきったパルシファル役の小貫岩夫らが印象深い(音楽の友)」。

その「あらかわバイロイト」、第二回音楽祭は来年四月二十四・二十五日に「トリスタンとイゾルデ」を取り上げる。

しかし、せっかちな監督の僕に一年は長すぎる。演奏者もスタッフも聴衆も、これだけ盛り上がり、とりわけ指揮者のクリスティアン・ハンマーへの賛辞が巻き起こっているのだ。「さすがにオペラの舞台上演を増やすことは無理だが、オーケストラ演奏会を開こう」と提案し、ハンマーの快諾を得た。

今回は、管弦楽曲として日本中に親しまれているワーグナーを演奏する。「タンホイザー」と「ワルキューレ」の抜粋だ。どちらもテレビCMからドラマやドキュメンタリーのBGMまで、とにかく劇的興奮を煽る音楽として人気が高い。「格好いいクラシック曲」の代表格なのだ。歌手を加えたオリジナルな形で、今回は公演する。

それだけでも、大規模で贅沢な演奏会とい

えるだろう。

でも僕は、せっかちな上に欲張りなのだ。舞台装置や衣装という制限のないオーケストラ演奏会ならば、もっと盛り沢山にしたい。

だから、協奏曲を加えた。一日目は、今年生誕二〇〇年記念で注目されているメンデルスゾーンから、有名なヴァイオリン協奏曲と、華麗な技巧が躍動するピアノ協奏曲。二日目はベートーヴェンのピアノ協奏曲第三番。

どれもワーグナーには縁の深い曲だ。メンデルスゾーンは同年代(ちなみにワーグナーの生誕二〇〇年は四年後だ)の好敵手、ベートーヴェンは彼がもつとも私淑して深く研究した作家だ。本家のドイツのバイロイト音楽祭はワーグナー自身が創設した専門の音楽祭だが、唯一ワーグナー以外の作品を上演した記録は、ベートーヴェンの第九である。

あらかわバイロイトは、どんどん進化する。僕たちとクリスティアン・ハンマーとの二回目の出会い、という成果を是非聞きに来てください。



田辺とおる

ドイツの「北ハルツ劇場」専属歌手としてオペラからミュージカルまで出演した後、ベルリンで俳優業にも活動を広げる。映画「ラストサムライ」では渡辺謙の声を吹き替え(独・仏・西語)・ドラマ・CM・ベルリン・シェクスピアカンパ

ニー「十二夜」などに出演。2000年以降は新国立劇場をはじめ、日本のオペラにも多く出演し、モーツァルト・ワーグナー・Rシュトラウス・ドニゼッティ・ロッシニ・ヴェルディ・プッチーニなどの諸作品で好評を博した。NHK音楽番組からバラエティーまでテレビ出演も多い他、雑誌連載や楽譜編集でも健筆を揮う。国立音楽大学講師。東京二期会会員。 www.tanabe.de